

町長の行政報告



池田町長

平成30年度 一般会計予算

限られた財源の中で、将来を見据えた新規事業を盛り込み、これまでの継続事業と合わせて持続可能なまちづくりを念頭に編成した。

平成29年度当初予算比^{3.41}%増の143億3400万円で、財源不足額8億240万円を財政調整的な基金から繰り入れることとした。

※詳細は3ページ参照

第7期

介護保険事業計画

平成30年度から平成32年度の保険料基準月額を⁵⁴⁶⁷円（第6期▲25円）と設定。

子育て、地域福祉に関する新規事業

○「子育て世代包括支援センター」＝妊娠、出産、育児などの相談、疑問、悩みに対応。

○「ファミリー・サポート・センター」＝子育ての援助を受けたい人と手助けをしたい人の連絡・調整を行う。
○「吾北あつたかふれあいセンターこころ」＝福祉サービスの情報発信や買い物支援などを行い、子どもから高齢者まで誰もが気軽に集える拠点を目指す。

平成30年度

国民健康保険税

資産割を除き試算をした結果、平成29年度と比較して1世帯当たり年間約1万2600円（約8.7%）引き下げとなる。

水道事業経営戦略策定

計画期間を平成29年度から平成38年度の10年間とした中長期的な経営戦略を策定。今後の収支見通しは赤字が継続し、水道事業の継続が困難になることが明らかになった。

平成30年度は水道経営審議会を設置し、適正な料金水準について審議してもらう。

川内保育園改築工事

設計業務を平成29年度内に完成させ、平成30年度に発注する予定。

改築期間中の保育の提供は保護者会の判断により、平成30年4月から神谷保育園で合同で保育することになった。

栄養マネジメント

加算の自主返納

偕楽荘介護保険報酬の栄養マネジメント加算における栄養ケア計画の更新が一部の利用者でなされていなかった。該当する利用者とは高知県国民健康保険団体連合会に122万円を自主的に返納することとした。

入札制度について

平成30年4月から、苦情処理要領の制定、入札監視委員会の設置、最低制限価格の事後公表などの施行を、6月から500万円以上の予定価格の事後公表の施行を準備している。

「山荘しらす」の再開

平成31年度の再開を目指していたが、山荘しらす検討委員会で老朽箇所改修のみならず、利用者の増や利便性についても検討を重ね

た結果、再開時期が平成32年度以降になる見込みとなった。

仁淀消防組合消防本部

平成30年4月1日に落成する。

中心市街地活性化

いの町商工会の若手事業者などによる「いの町中心市街地活性化構想」をもとに、手すき和紙職人の後継者養成施設として元町飯倉庫の改修を平成30年度から着手。ギャラリー・コパは有効活用に向けた準備のため平成31年度から休館。観光協会は平成30年4月1日から暮らしのかけ橋交流館「なないろ」跡に移転する。